



認知症医療介護推進の提言

アクションプラン・国立長寿研究センター (NCGG)

項目	NCGG アクションプラン
職種や機関間の連携推進	
① 初期段階の相談に応じる専門職の対応力の向上を含めた機能の強化（相談機能）	# 認知症疾患医療センターとしての相談業務 平成 29 年度、電話・面接による相談件数は 1225 件、家族教室にも延べ 206 名が参加
② 常に認知症の人やその家族を支えるための機関間連携の深化	# 若年性認知症に対する認知症介護研究・研修大府センターとの連携システム構築・普及 # 家族交流会の協力・共催
国、都道府県、市町村の取り組み（行政が主体の事業に対する NCGG の協力として）	
1. 責任主体の明確化（人材育成や研修）	# 認知症サポート医養成研修 # 認知症初期集中支援チーム員研修 # 愛知県事業における人材育成推進事業 認知症初期集中支援チームの活動強化に係る研修会、認知症地域支援推進員の活動強化に係る研修会、認知症高齢者等行方不明者見守りネットワークの構築に係る研修会 # 都道府県、市町村等が実施する認知症関連研修への講師派遣
2. 地域にある社会資源や人材、データ等の活用（ニーズ収集、工夫や取り組みの共有）	# あいちオレンジタウン構想：大府・東浦懇談会等を通じたニーズ収集、工夫や取組の共有 
3. 全国で利用できる連携シート普及  武田シート	# 平成 27 年老健事業「認知症の医療介護連携、情報共有ツールの開発に関する調査研究」

4. 認知症の人やその家族を支える連携に対する報酬上の評価	# 家族教室の診療報酬加算実現に向けての枠組みの提案と協議
認知症医療介護推進会議における取組み	
1. 多職種間の共通認識の醸成、相談対応力向上に向けた認知症の人や家族のニーズの整理	# 電話・窓口相談を分析し、認知症の各病期における家族ニーズの情報収集は終了 # 本人の懇話会から、本人のニーズを収集する。 # オレンジレジストリ（ケア班）で介護者の対応について情報収集
2. 連携の効果測定のための認知症のアウトカム評価の研究	# 認知機能 ADL BPSD 評価ツール（短縮版） # 介護者の well-being を評価する新たな指標を開発（介護負担評価のアウトカムとして）
ロボットの開発、創薬等の技術革新	
<p>① 認知症の人の意見を踏まえた個別のニーズに適切的な技術革新</p> <p>前臨床およびMCIの全国ネットワーク</p>   <p>通所リハのロボットアクティビティ</p> 	<p># 認知症（アルツハイマー病）- 早期診断法開発 Nakamura et al., Nature 2018</p>  <p>2018年1月29日プレス発表（厚生労働省）</p>  <p># 認知症（アルツハイマー病）- オレンジレジストリ・コホート研究</p> <p># NCGG ロボットセンターでの介護支援ロボット開発</p> <p># 認知症医療・介護における ICT の活用（運動機能の解析・認知症の人からの傾聴を定量化）</p>
③ 認知症の人やその家族に対する最新技術に関する情報のわかりやすい提供	# 最新の治験開発情報を当事者に伝える # 市民フォーラムの開催（9月東京） # HP を通じた情報公開